

## 下関市中学生米国派遣研修を終えて

団長（下関市立木屋川中学校教頭） 能野 晶子

平成 30 年度下関市中学生米国派遣研修の団長として、平成 30 年 8 月 1 日～7 日の日程で下関市と姉妹都市であるアメリカカリフォルニア州、ピッツバーグ市を訪問しました。

この研修は今回で 19 回目（2000 年から 19 年連続）となり、これまでに 152 名の団員が派遣されています。今年度は、応募者がこれまでで最多となり、作文審査と日本語及び英語による面接を経て 8 名の団員が選ばれました。

団員は、事前研修 5 回、市長表敬（出発式）、現地研修、市長表敬（帰国挨拶）、事後研修 2 回、研修報告会を行いました。

事前研修では、国際親善大使として現地の方々の下関について知っていただくためのプレゼンテーションの企画・英語での原稿作成・発表練習や各自の研修テーマの決定・研修方法についての確認・レポートの準備などを行いました。また、前年度の団員から現地での様子や心構えをアドバイスしてもらった時間もあり、不安や心配を乗り越えて期待と希望に胸をふくらませながら現地での研修に備えました。

現地での研修期間中、団員は万全のサポートを受けながら充実した時間を送ることができました。ピッツバーグ市役所ではピート・ロングマイヤー市長をはじめ、市役所の皆様、学校関係者の皆様、ホストファミリーの皆様より心温まる歓迎を受けました。また、日本から準備していった「Shimonoseki Introduce」というタイトルのクイズを交えた参加型のプレゼンテーションを英語で発表しました。最初はとても緊張していた団員達も現地の方々の一生懸命聞いて下さる姿や自分たちの英語が伝わる喜びに次第にリラックスし、堂々と発表をすることができました。その後の交流では「素晴らしい発表だった」「しっかり練習していてわかりやすかった。」「クイズがあつて楽しかった。」「日本の中学生はとても礼儀正しいですね。」などお褒めの言葉をたくさんいただきました。

また、ピッツバーグ市内の警察署・中学校・高校などを訪問させていただき、学生や職員の方々と交流することができました。団員達は少しでも多く英語でコミュニケーションをとろうと積極的に話しかけたり、自身の研修テーマについて具体的な質問をしたりと意欲的に研修に取り組むことができました。

さらに、カリフォルニア大学バークレー校の見学やサンフランシスコ総領事館の訪問などを通して、「将来は留学をしてみたい。」「海外の大学で学びたい。」「外交官になりたい。」など自分自身の将来の夢や希望について、輝く笑顔で語る団員の姿は本当にまぶしく感じ

ました。

最終日のプールパーティーでは、感謝の気持ちを込めて日本から持参した習字道具を使って扇子やうちわにお世話になった方々の名前を漢字で書いてプレゼントしました。また、けん玉や竹とんぼや折り紙などを体験してもらったり、日本のお菓子を食べてもらったりしました。私達の想像以上に現地の方々に喜んでいただき団員一同嬉しい気持ちで一杯でした。

今回の研修で団員達の心に最も残っているのはなんと言ってもホストファミリーと過ごしたかけがえのない時間だと思います。家族の一員として本当に優しく温かく受け入れていただいたおかげで全員が元気に安心して過ごすことができました。一日の研修を終えて団員がホストファミリーと帰宅し、次の日の朝、団員に「昨日の夜はどうだった」と聞くと「ママが〇〇について話してくれました。」「おばあちゃんが〇〇について教えてくれました。」「家族みんなでショッピングに行きました。」「子ども同士で〇〇をして遊びました。」「日本から持って行ったお米でおにぎりをつくったらすごく喜んでもらえました。」と本当に密度の濃い時間を過ごさせていただいている様子が伺えました。文化や言葉の違う多感な時期の中学生を家族の一員として受け入れていただき、団員が寂しい思いや不安な思いをしないように心を尽くして下さったホストファミリーの皆様には本当に感謝の気持ちで一杯です。

インターネットを通して日本にいながら世界中の情報を手にすることができる時代ですが、現地での研修を通して団員がたくましく成長していく姿を目の当たりにし、自分の目で見て聞いて体験することの尊さを痛感しました。これまで体験したことがない生活・文化・考え方に実際に触れることで団員一人ひとりの意識が大きく変わっていきました。グローバルな視点で物事を見つめたり、自分と違う相手を理解し尊重する姿勢を学んだり、自分の意見をしっかりと伝えることの大切さを実感したり、さらには自分自身のこれからの生き方について深く考えるヒントをたくさん得ることができました。団員達にとって今回の研修は本当に実り多いものであったと思います。そして、このような研修を通して若い世代が国際感覚を身につけるとともに、ふるさとの良さを再発見しふるさとのために貢献できる人材に育ってくれればと思います。

最後になりましたが、今回の研修に際しまして、団員ご家族の皆様のご協力、ソロプチミスト東下関様からのご支援、ピッツバーグ市および下関市の関係者の方々のご尽力等、本当にたくさんの方々からのサポートをいただきました。団員一同心から感謝しております。私自身も団長として貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。